



建設水道常任委員会

【 地域公共交通網形成計画 】 (令和元年6月定例会)

平成30年事業 成田市地域公共交通網形成計画基礎調査業務 (約494万円)

令和元年度 計画に定める基本方針及び目標の検討 (予算589万6千円)

令和2年度 具体的な施策を検討し、全体計画を策定 (予算612万7千円)



【 水道事業施設更新計画 】 (令和元年6月定例会)

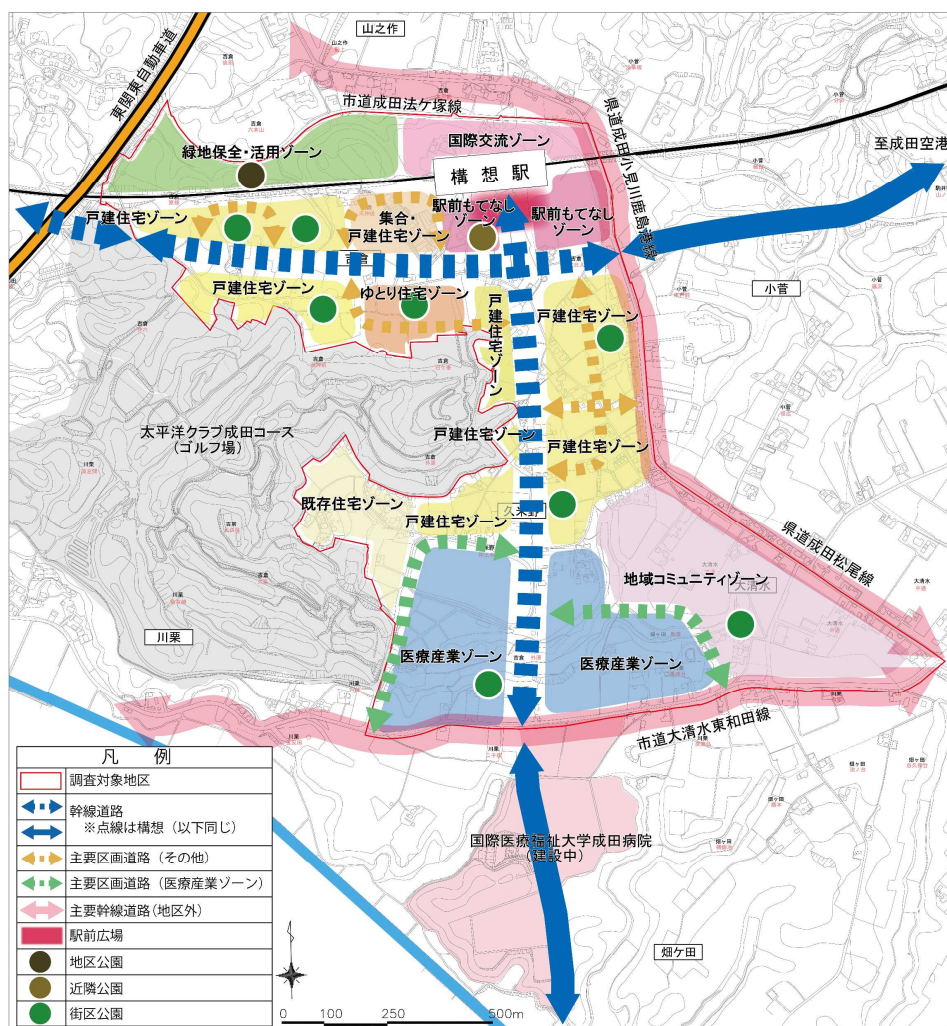
現在、高度経済成長期に設置された水道施設の老朽化や耐震性能不足が全国的に問題視されています。本市においても同様の課題があり、今後も安全・安心な水道水を安定的に供給するために、計画期間を令和元年度から30カ年とした、成田市水道事業施設更新計画を定め、6月に公表されました。

計画では、大規模改修や更新に併せて、現在11カ所ある配水場を7カ所まで集約・統合し、更新費用の削減や平準化も図るとのことであり、私たちの生活に欠かすことのできないライフラインの強靱化などが期待されます。

【吉倉地区周辺まちづくり事業】（令和元年6月定例会）

成田空港の更なる機能強化や国際医療福祉大学成田病院と連携した医療関連産業の集積等に伴う新たな開発需要や人口増加に対応するため、都市計画マスタープランに掲げた鉄道構想駅周辺から附属病院までの周辺地区において、まちづくり基本調査を実施しました。

調査の結果、まちづくりの実現化の方策として、鉄道構想駅周辺の地区は、住居系・商業系の土地利用とし、市街化区域へ編入して、組合施行による土地区画整理事業を想定しています。また、附属病院北側の地区については、医療関連等の産業系の土地利用を想定し、市街化調整区域における地区計画制度を活用した土地区画整理事業や、民間企業による開発行為等を想定しています。



《吉倉地区周辺まちづくりのイメージ図》